



現在会員数:81名(協賛5社)

# 会報 美術教育支援協会 Vol.2

特定非営利活動法人(NPO)

【事務局】〒167-0051  
東京都杉並区荻窪 4-20-11  
電話：03-3398-9155  
FAX: 03-3398-9158  
e-mail: info@npoaes.org  
HP: npoesa.org  
発行人: 美術教育支援協会事務局

## ご挨拶

理事長 谷岡 清

桜前線が北上し、日本列島がいちばん華や季節となりました。

会員の皆様は、どのような春をお迎えてでしょうか。当 NPO 協会も発足以来満二年を経過し、少しずつではありますが、活動の場が

広がってまいりました。昨年も、一昨年に続き、土曜フォーラムを開催、「世界の4大美術館の旅」と題し、ルーブル美術館、大英博物館などの代表的美術館を、スライドでめぐる旅をしました。最近では実際に旅をされる方も増えたため、世界的美術館への関心も高く、盛況のうちに4回を終了、続編へのご希望も多くいただきました。

今年にはさらに、長野県池田町的美術館での複製画による世界の名画展や、各地の特色ある美術館訪問のバスツアーなどの企画も多々あり、また助成金等の支援も得られ、いっそう充実した活動を目指しております。ぜひ、会員の皆様の積極のご参加をお願い申し上げます。



## 【土曜フォーラムに参加して】

### 新人会員のひとりごと

栗原 紀夫

この企画への参加は、芝落語会で共に遊び、学んでいる畏友青木修氏のお誘いで、昨秋から本年初頭にかけ、杉並区産業商工会館で行われた『土曜フォーラム：【世界四大美術館の旅】』を聴講した。

講座は、ルーヴル・大英博物館・エルミタージュ・メトロポリタン美術館を各二時間半迄・四回の構成で、昨年11月28日の開講、12月5日、19日。年改まって1月16日迄の土曜日午後二時からの聴講には、期待を遥か超える至福の旅が待っていた。

先ずプロジェクターで映し出される写真の殆どが講師・谷岡清理事長手ずから撮影になり、建物の外観から色々な交渉の苦労話などを交えつつ、60人を超える我々受講者の心をパリ、ロンドン、サンクトペテルブルグそしてニューヨークへと飛び立たせる。

そして各館から選りすぐった各々80を越える展示品の説明をユーモアたっぷり、ゆとりを持って話しかける名ガイド振りに引き込まれる。写真は必要に応じて展示場の雰囲気迄もが撮影され、特に建築物・彫刻・遺物・遺跡など立体的なものは、あらゆる方向から実態に迫り我々を3Dの世界に誘い込み、豊潤な二時間半がアツという間に過ぎ去る。

受講して、講師を務められた谷岡理事長の博識・話術にすっかり魅了され、加えて運営に当たられる役員方の温情、更に聴講の皆様方のモラル、レベルの高さに感じ入り、今後の活動が楽しみなので早速入会の手続きをとったが、当会がNPO法人とのことなので、微力ながら今後出来る範囲でお手伝いもしたいと思っている。

また、いつの日にか、谷岡理事長が撮り溜められた写真の中から、個人的なお好みを前面に打出し、エカテリーナ二世の向こうを張った『谷岡コレクション』を鑑賞出来たらと夢見たら、と、新入会員の夢はいよいよ膨らむ。

(2010・2・11)

## 土曜フォーラムの報告

当 NPO の主催、杉並区の協賛などで開催しました土曜フォーラムについて下記、結果報告です。参加人数は4回で延べ240名に達しました。

(平成20年10月から主杉並区のセンターにてフォーラムを開催しました)

講師: 谷岡 清(当NPO理事長・美術鑑識家)

### ■第一回 11月28日(土) 14時~16時30分

『ルーブル美術館』(フランス・パリ)

世界最大級の絵画・彫刻など膨大なコレクションを誇る。“なぜギリシヤのミロス島で発見されたヴィーナス像がパリのルーブルにあるのか、腕はどうなっていたのか?”等々

### ■第二回 12月5日(土) 14時~16時30分

『大英博物館』(イギリス・ロンドン)

大英帝国が世界から集めた古今東西の貴重な文化遺産の数々。“ギリシヤ彫刻がなぜアテネのパルテノン神殿からイギリスへ持ち去られたのか?”等々。インド・ガンダーラ美術の宝庫でもある。

### ■第三回 12月19日(土) 14時~16時30分

『エルミタージュ美術館』(ロシア・サンクトペテルブルク)

ロシア最大の美術館・エカテリーナ女帝の秘宝コレクション “なぜレンブラントや印象派の名作が大宮殿を飾るのか?”

### ■第四回 H22年1月16日(土) 14時~16時30分

『メトロポリタン美術館』(アメリカ・ニューヨーク)

アメリカが財を尽くして集めた世界美術の一大コレクション ルネサンス・印象派の傑作から尾形光琳の名品まで、驚異の収蔵品

※アンケートにご協力、ありがとうございます。「楽しかった」「新しい発見があった」など、本土曜フォーラムは大変好評で、次の開催が待ち遠しいとのご意見が多数寄せられました。



土曜フォーラム風景

## 土曜フォーラムに参加して

川本郷司

今回の講座には第一回から参加したが、1月16日(土)、第4回土曜フォーラムには、15分ばかり遅れて参加した。満席だった。席は最後列だったが、講師の解説は良く聴き取れた。この講座の人気の秘密はいうまでもなく、講師の巧みな“話術”にある。「面白くて、楽しかった」が大方の聴衆の感想であろう。一つの作品の解説にしても、通り一遍でなくその作品のストーリー性とその背面にあるディティールを分かりやすい言葉で、エスプリとダジャレを交えながら、飽きさせることはなかった。

「何故かという・・・」(彼の口癖だが)を連発して、より深く切り込んでいた。2時間の持ち時間を大幅にオーバーしても気にならず、満足感を与えてくれた。

この講師、谷岡清君は我々の母校、世田谷区立中里小学校の同期生で、昭和24年卒の若づくりであるが、かなりのジイさんである。オーナー社長であり、大学の講師であり、NPOを立ち上げれば理事長に就任、このところの美術ブームに大忙しである。そして我々のリーダー的存在であり、年数回の会合に彼を囲んで、古き良き仲間たちと人生を楽しんでいる。

(2010.3.1)

土曜フォーラム (エルミタージュ美術館、メトロポリタン美術館) に参加して

秋場 美奈子

両親から「土曜フォーラム『世界の4大美術館の旅』はすごく面白いよ！行ってみる？」と誘われ、全4回のうち、後半2回に両親と一緒に参加させていただきました。美術品や絵についての知識もなく、楽しみ方もわからなかった私ですが、一つ一つの作品や見所、その作品をつくった人たちの人生、そして先生と作品の出会いやエピソードなど、ユーモアを交えながらの先生のお話は、両親の言っていたとおり、とにかく楽しく、面白かったです。行ったこともない美術館に出かけて行って、そこの作品を堪能してきたような贅沢な気分を味わうことができました。

先生のお話が魅力的な理由のひとつは、美術を単に学術的な視点や高尚なものとしてではなく、私たちの目線で美術作品を紹介してくださるからだだと思います。なぜ美しいマリヤ様を描きながら、彼女が抱きかかえている赤ん坊のキリストはゴツゴツしていてちっとも可愛くないのか。天国と地獄の絵では、なぜいつも天国の部分は動きがなくつまらない描写なのに、地獄の描写は迫力があり、生き生きとしているのか。絵について何も知らない私が持つような素朴な印象、そんなところから作品の世界へと入り込むことができました。

また、普段私がただ目にしただけでは何の感慨も浮かばない古代の人々のつくった美術品でも、先生の説明を通して彼らの生き方や人生観まで垣間見ることができ、親近感や共感を持って、それらの作品を感じることができました。人間は、さまざまな感情が伴うと記憶力が高まるそうです。笑いながら、楽しみながら鑑賞させていただいた作品は、題名とか年代とかは忘れてしまっても、今でもたくさん心に残っています。2回しか参加できなかったのが、今では悔やまれます。また機会があったら、ぜひ、参加したいと思っています。そして、私の心の中の美術館を少しずつ広げ、つっていききたいと思います。

土曜フォーラム『世界の4大美術館の旅』を受講して

荒川 いづみ

現在52歳の私は、幼い頃よく母に連れられて様々な美術館を訪れました。宗教絵画や印象派の巨匠たち、新しい時代を象徴する作品、日本画、彫刻、などなど。

世界中の人々を感動させ、時空を超え私の目の前に忽然と現れる作品の数々と出会うことは、幼いながら、何か畏れを伴う「真剣勝負」のような感じでした。時に立ち尽くし、時に心臓が昂り、時に涙し、言葉にならない衝撃を受けた数々の芸術作品は、その後の私の人生にどんなにか味わい深いものにしてくれたことでしょうか！

そして現在。いつしか倦怠的な毎日を送っていた私は、今回のフォーラムに参加し、久しぶりに鮮やかな心の昂りを覚えたのです。

講師の先生のお話が作品への愛情に充ちていることに加え、分かりやすく温かく、そしてユーモアに充ちていて・・・。

気がつくと、映し出されるスライドが変わるたび「真剣勝負」をしていたあの日の私が私の中に戻ってきているような不思議な感動を味わっておりました。

この機会を与えて下さった方々に心から感謝するとともに、またの機会を楽しみにしております。ありがとうございました。

事務局から今期の報告など

■第3期報告 (H21.4.1~H22.3.31)

- ・H21/4月第一回理事会
- ・5月杉並区NPO助成金申請講習会出席
- ・6月日本財団助成金申請打ち合せ
- ・7/23第二回理事会
- ・9/8聖徳大学にて美大学生ボランティア活動打ち合せ
- ・9/16第三回理事会
- ・10月クレージーキャッツ絵画講習会打ち合せ
- ・11/6第四回理事会
- ・11/28土曜フォーラム『世界の四大美術館』①
- ・12/5土曜フォーラム②
- ・12/19土曜フォーラム③
- ・H22/1/16土曜フォーラム④
- ・1/19聖徳大学にて池田町美術館展打ち合せ
- ・1/27第5回理事会
- ・2/20日本財団へ助成金申請
- ・3月関西在住会員横井さんに関西支部を嘱託
- ・2/20池田町立美術館複製画展32点・講演4月開催正式決定
- ・3/20日本財団助成金100万円通知受
- ・3/31会報編集・発送

当NPO協力の『複製画展覧会』が開催されます。

—— 世界の名画がやってくる

<美を楽しむ複製名画>

原画の再現性に高い評価を受けている最高品質の複製画「プリハードによる世界の名画」によりレオナルド・ダヴィンチ/フェルメール/ミレー/モネ/ゴッガン/ゴッホ/ルノワール/ピカソ/東山魁夷など有名作家20名の作品を展示いたします。詳細は池田町立美術館のHPをご覧ください。

<http://www.ikedamachi.net/bijutsukan/>

■ギャラリートーク4月29日(祝・木)

13:00 14:00(2回)

テーマ「世界の名画を楽しもう」

当NPO理事・美術館長/遠藤 友麗

於：長野県池田町立美術館(北アルプス展望美術館)

2010年4月29日(木・祝) ~ 5月30日(日)

休館日/5月6,10,17,24日

〒399-8602 長野県北安曇郡池田町大字会染7782

☎0261-62-6600 fax:0261-62-6601

【事務局長より】

理事・事務局長 箕島 絃一

ようやく「会報」第2号が発行の運びとなりました。偏に会員各位のご支援の賜物と感謝いたしております。次年度は日本財団よりの助成も決まり更に活発な支援活動を展開できるものと事務局員一同より一層励んで参りたく存じます。又本年5月26日より東京・六本木の国立新美術館にて開催の「オルセー美術館展」の招待券二枚を贈呈させていただき、事も実現に至りました(但し09・10年会費納入会員様へ・未納の方は同封の振替票にてご入金確認後にお送りいたします)。今後とも各種支援事業に対するご協力、ご参画をお待ち申し上げております。

※3月23日に当事務局より誤操作による個人情報保護法にもとるメールが発信され受信された一部の皆さまには多大なご迷惑をお掛けいたしました事、深くお詫び申し上げます。今後このような過誤を繰り返さぬよう、事務局にて徹底した対策を講じてまいります事をお約束させていただきます。

【第3・4期会費納入のお願い】

お蔭様で現在81名の会員(協賛会社含む)の方々がいらっしゃいます。つきましては次年度も変わらず会員継続をお願いしたいと存じます。お手数ですが3期の会費がまだの方(H21.4.1~H22.3.31)と新たに4期の会費((H22.4.1~H23.3.31)各期3,000円を下記へお振込みいただけますようお願いいたします。(H22.1.1以降ご加入の会員様は有効期間をH23.3.31としてお取り扱いいたします)

●三菱東京UFJ銀行・荻窪支店：普通1792572 トクエイイカウトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ

●三井住友銀行・荻窪支店：普通0568070 トクエイイカウトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ

●郵便振替 00140-2-318540 トクエイイカウトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ